地質柱状図（No.1）

調査件名　千葉市立坂月小学校地質調査委託

調査場所　千葉市坂月町

調査期間　昭和48年4月17日 ～ 48年4月19日

現場担当者

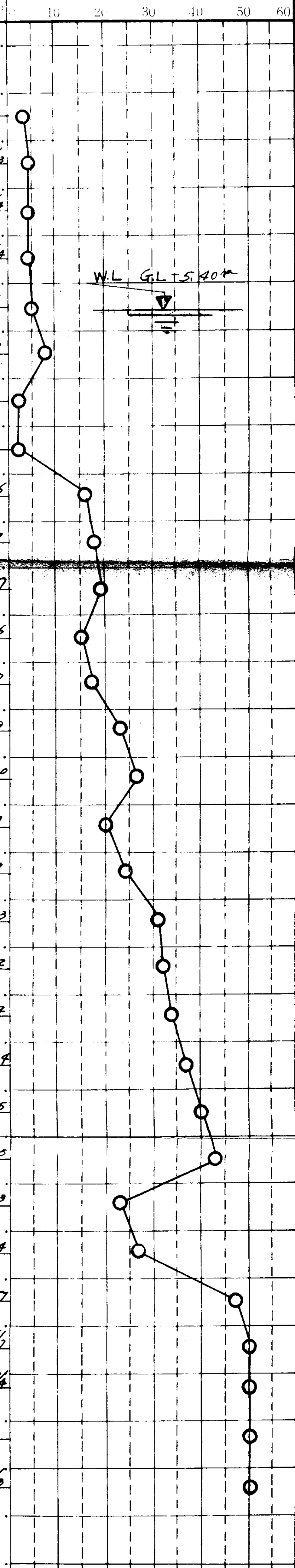
標高　−0・034M

水位（~~自然~~・孔内）G.L −5・40M

月日	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	色調	地質名	観察記事	相対密度
	-0.034	0.00					
	-1.134	1.10	1.10	暗褐	表土	草、木根を混入	
	-4.734	4.70	3.60	黄褐	ローム	含水分中 全体に均一質である。 -4.00m附近より少量の浮石を混し若干凝灰質状である	軟 〜 軟
	-5.434	5.40	0.70	乳黄灰	砂混り粘土	含水分やや多し 全体に砂を含む	中
	-7.134	7.10	1.70	褐黄灰	粘土混り細砂	含水分中 全体に粘土を含む	緩
	-8.634	8.60	1.50	乳灰	凝灰質粘土	含水分多し 粘着力弱い	極軟
4.17	-17.834	17.80	9.20	褐灰 〜 黄灰 〜 黄褐灰	細砂	含水分中 少量の雲母片を混在 全体に微少の粘土分を含む GL−10.50m附近より黄灰色に変り GL−12.00m附近より黄褐灰に変る 雲母片を混在 全体に少量の粘土分を含む	中 〜 中 〜 中
	-18.434	18.40	0.60	赤褐	中砂	含水分少 多量の浮石、小礫を混在	密
	-25.134	25.10	6.70	黄灰 〜 黄褐灰	細砂	含水分少 少量の雲母片を混在 GL−22.00m附近より黄褐灰に変り、雲母を多量に混入	密 〜 密
4.18	-26.034	26.00	0.90	暗黄灰	中砂	含水やや多し 少量の雲母片を混在	密
	-30.414	30.38	3.62	暗黄灰	細砂	含水中位 若干の雲母片混在 全体に均一層で、シルトを含む	密 〜 極密

標準貫入試験

試料	深度 (m)	打撃数 回/cm	10	20	30
	1.15–1.46	3/31	1/11	1	1
	2.15–2.48	4/33	1	1	2/13
	3.15–3.47	4/32	1/9	1/9	2/14
1	4.15–4.47	4/32	1	1/8	2/14
2	5.15–5.45	5/30	1	2	2
3	6.15–6.45	8/30	2	3	3
	7.15–7.47	2/32	1/17	1/15	
4	8.15–8.45	2/30	1/16	1/14	
5	9.15–9.45	16/30	5	5	6
	10.15–10.45	18/30	5	6	7
	11.15–11.45	19/30	6	6	7
	12.15–12.45	15/30	4	5	6
	13.15–13.45	17/30	5	5	7
	14.15–14.45	23/30	7	8	8
	15.15–15.45	26/30	8	8	10
	16.15–16.45	20/30	6	7	7
6	17.15–17.45	24/30	7	8	9
7	18.15–18.45	31/30	6	12	13
	19.15–19.45	32/30	9	11	12
	20.15–20.45	34/30	11	11	12
	21.15–21.45	37/30	11	12	14
	22.15–22.45	40/30	12	13	15
	23.15–23.45	43/30	14	14	15
8	24.15–24.45	33/30	10	10	13
9	25.15–25.45	37/30	10	13	14
	26.15–26.45	47/30	14	16	17
	27.15–27.42	50/27	16	19	15/7
	28.15–28.39	50/24	18	22	10/4
	29.15–29.35	50/20	18	32	
10	30.15–30.38	50/23	20	23	7/3



地質柱状図 (No.2)

調査件名 千葉市立坂月小学校地質調査委託

調査場所 千葉市坂月町

調査期間 昭和48年 4月 19日 ～ 48年 4月 21日

現場担当者

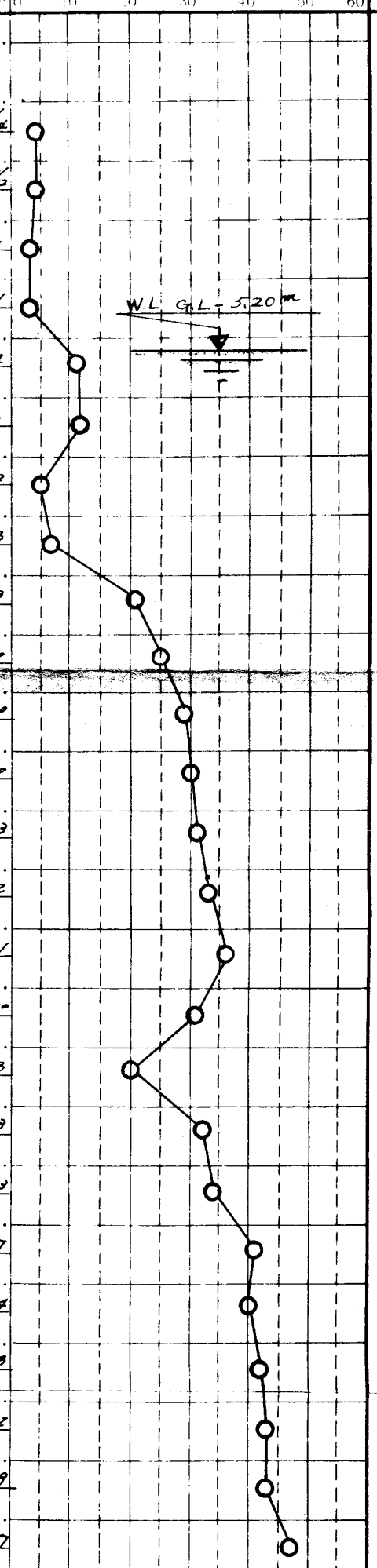
標高 −0.031M

水位 (~~自然~~・孔内) G.L −5.20 M

月日	標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度
	0	-0.031	0.00						
		-0.331	0.30	0.30		暗褐	表土	草，木根を混入	
	1							含水分中 均一層である	軟
	2								
	3							G.L −3.00m附近より全体に粘土分を含む	軟
	4	-4.531	4.50	4.20		黄褐	ローム		
		-4.931	4.90	0.40		乳黄灰	砂混り粘土		
	5							含水分中 均一層である。 全体に粘土を混る。	中
	6								
4.19	7								軟
	8	-8.531	8.50	3.60		黄褐	粘土混り細砂		
	9							含水分中 少量の雲母片を混在	
	10								
	11							G.L −11.00m附近より黄灰色に変る。	中
	12					黄灰			
	13							G.L −13.00m附近より黄褐色に変り、微少の粘土を薄層で挟む。	密
	14								
	15							全体に均一層である	
	16								
	17								中
	18								
	19								密
4.20	20					黄褐			
	21							G.L −21.00m附近より暗黄灰に変る	
	22							含水分中	
	23							若干の雲母片を混在，全体に粘土分を含む。	
	24							処々に中砂を挟む。	密
4.21	25	-25.431	25.45	16.95		暗黄灰	細砂		
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	31								

標準貫入試験

採取深度 (m)	深度 (m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値 (回)
1	1.15 1.49	4/34	1	1	2/14	
2	2.15 2.47	4/32	1	1	2/12	
	3.15 3.47	3/32	1/12	1	1	
2	4.15 4.45	3/30	1	1	1	
3	5.15 5.45	12/30	4	4	4	
	6.15 6.45	12/30	3	3	2	
	7.15 7.45	5/30	1	2	2	
4	8.15 8.45	7/30	2	2	3	
5	9.15 9.45	21/30	6	7	8	
	10.15 10.45	25/30	7	8	10	
	11.15 11.45	29/30	9	10	10	
	12.15 12.45	30/30	10	10	10	
6	13.15 13.45	31/30	7	11	13	
	14.15 14.45	33/30	10	11	12	
	15.15 15.45	36/30	12	13	11	
7	16.15 16.45	31/30	10	11	10	
	17.15 17.45	20/30	6	6	8	
	18.15 18.45	32/30	8	11	13	
	19.15 19.45	34/30	10	11	13	
8	20.15 20.45	41/30	12	12	17	
	21.15 21.45	40/30	13	13	14	
	22.15 22.45	42/30	10	14	18	
9	23.15 23.45	43/30	15	16	12	
	24.15 24.45	43/30	8	16	19	
10	25.15 25.45	47/30	14	16	17	



不攪乱資料 (m)

土質柱状図　報告用紙

調査名・調査地点　千葉市立坂月小学校増築地質調査委託　千葉市坂月町298番地
標高　仮B.M.−0.500 m
調査年月日　年　月　日〜　年　月　日
ボーリング孔：No.
孔内水位　GL−3.80 m
調査担当者

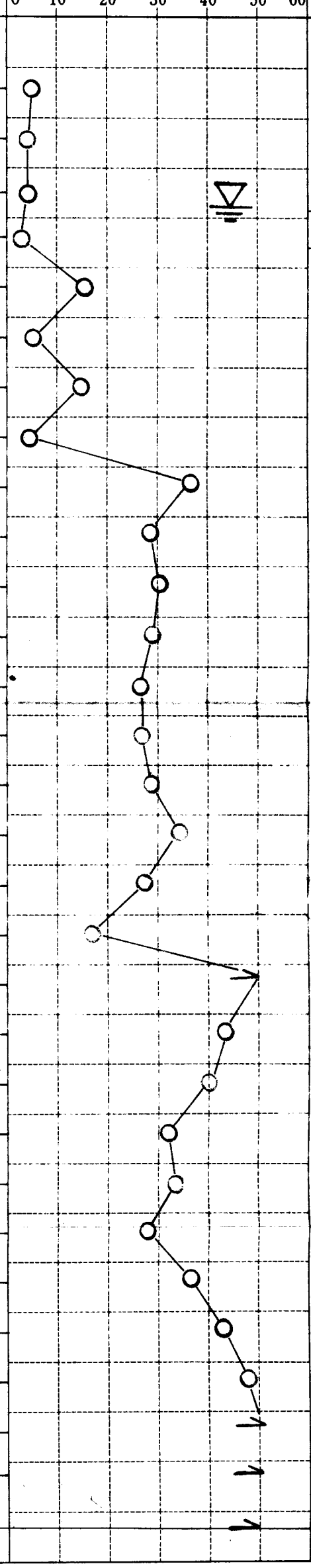
標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	土質記号	土質名	色調	記事
		0.15	0.15		表土	黒褐	主に黒褐のローム、腐植物混入
		3.70	3.55		ローム	茶褐	腐植物少量点在する スコリア混入 粘性所々多い 含水中位
		4.70	1.00		凝灰質粘土	乳灰	色調混入、腐植物・有機物混入する 4.40附近 酸化物混入する
		8.35	3.65		粘土質細砂	黄茶褐 黄褐	粘土所々層状及びブロック状に混入する 6.00附近 粘土分多い 腐植物・有機物混入する 8.00附近より30cm位 滓石多量に混入する
		9.60	1.25		細砂	黄灰	若干粘土分混入する 粒子均一 含水中位
		18.60	9.00		粘土質細砂	黄灰 黄褐 黄灰	全体的に粘土分平均に混入する 粒子均一 滓石・雲母混入する 14.00附近より黄褐の細砂になり、粘土分少量混入する 16.00附近より黄灰になり、粘土層状に薄く挟む 18.00附近より酸化物10cm位挟む 18.15附近 粒子荒い ホレキ少量混入する
		30.36	11.76		細砂	黄灰	19.00附近 酸化している 粒子やや荒い 滓石・雲母混入する 含水中位 22.00附近より若干粘土分混入する 粒子均一 含水中位 腐植物少量混入する 滓石・雲母混入する

標準貫入試験

深さ m	打撃回数／貫入量 cm	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値
1.15	4	1	1	2	2
1.45	30	10	10	10	
2.15	3	1	2		3
2.48	33	15	18		
3.15	3	1	1	1	2
3.50	35	13	12	10	
4.15	2	1	1		2
4.46	31	18	13		
5.15	16	4	5	7	12
5.45	30	10	10	10	
6.15	6	2	2	2	4
6.45	30	10	10	10	
7.15	16	4	4	8	12
7.45	30	10	10	10	
8.15	5	1	4		5
8.45	30	20	10		
9.15	38	10	13	15	28
9.45	30	10	10	10	
10.15	29	9	9	11	20
10.45	30	10	10	10	
11.15	30	9	10	11	21
11.45	30	10	10	10	
12.15	29	7	9	13	22
12.45	30	10	10	10	
13.15	27	8	9	10	19
13.45	30	10	10	10	
14.15	27	9	9	9	18
14.45	30	10	10	10	
15.15	29	8	9	12	21
15.45	30	10	10	10	
16.15	34	9	12	13	25
16.45	30	10	10	10	
17.15	28	8	9	11	20
17.45	30	10	10	10	
18.15	18	5	6	7	13
18.45	30	10	10	10	
19.15	50	15	17	18	35
19.44	29	10	10	9	
20.15	43	10	14	19	33
20.45	30	10	10	10	
21.15	40	12	13	15	28
21.45	30	10	10	10	
22.15	31	10	10	11	21
22.45	30	10	10	10	
23.15	33	11	11	11	22
23.45	30	10	10	10	
24.15	28	8	9	11	20
24.45	30	10	10	10	
25.15	38	10	13	15	28
25.45	30	10	10	10	
26.15	42	10	14	18	32
26.45	30	10	10	10	
27.15	48	12	16	20	36
27.45	30	10	10	10	
28.15	50	12	16	22	38
28.44	29	10	10	9	
29.15	50	20	30		50
29.35	20	10	10		
30.15	50	20	26	4	50
30.36	21	10	10	1	

試料採取

試料番号	深さ m	採取方法
	3.80	
7		●
	4.70	



備考：

試料採取方法の記号
- ● シンウォールサンプラー
- ○ 貫入試験用サンプラー
- ◉ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他

第7図

千葉市立坂月小学校屋内運動場増築
地質調査委託

地質柱状図（NO. 1 ）

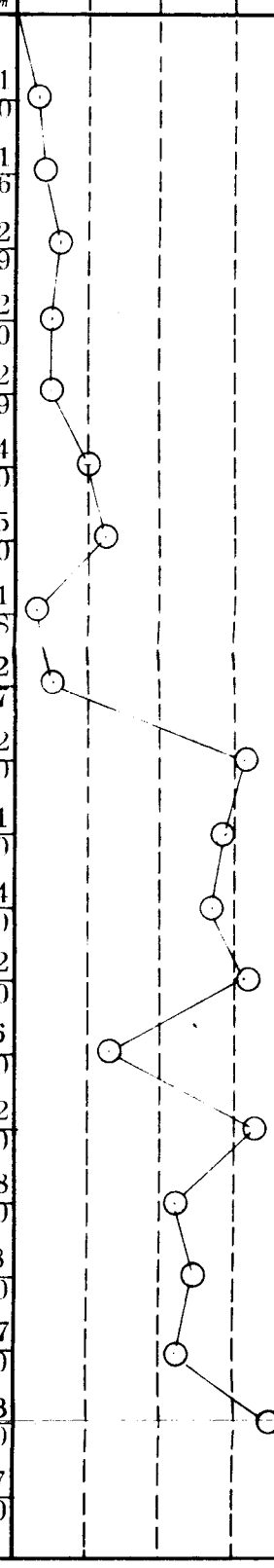
調査地点　千葉市坂月町298番地　　標高　TBM －0.460m（設計GL＋0.040m）

調査年月日　昭和57年 8月 5日～8月9日　　孔内水位　GL －6.15m

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度
	0.61 (-0.11)	0.15			暗褐色	表土	芝 草根混入		
							上部草根混入 有機物 ↑植物混入 スコリア混る 含水量中位		軟
	4.21 (-3.71)	3.75	3.60		茶褐色	ローム			中
							少量の↑植物混入 粘性大 浮石混入 含水量中		中
	5.96 (-5.46)	5.50	1.75		乳灰色	粘土			中
					黄褐～		粘土不規則に挟在 所々凝固状を呈す 含水量中位	中位	
	8.01 (-7.51)	7.55	2.05		茶褐色	粘土混り細砂	酸化物混入		
							細砂均一に混り 含水量大 浮石 火山灰 混入 粘性弱		軟
	10.06 (-9.56)	9.60	2.05		乳黄色	細砂混りシルト			中
					灰褐～		所々微細砂を混る 雲母片混入 含水量中位 粒径ばら均一	密－中位	
					暗黄褐		14mm付近含水量多く 粘土分を混る 所々中砂を混る 粒径均一 含水量中位 雲母混入	密－中位	
							19.15～19.20m 粘土層挟在(浮石多く混る 含水量大)	密	
	20.91 (-20.41)	20.45	10.85		灰褐色	細砂			

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15	3	1	1	1
1.47	32	11	11	10
2.15	4	1	2	1
2.45	30	10	14	6
3.15	6	2	2	2
3.45	30	11	10	9
4.15	5	1	2	2
4.45	30	10	10	10
5.15	5	1	2	2
5.48	33	11	13	9
6.15	10	3	4	4
6.45	30	10	10	10
7.15	12	3	4	5
7.45	30	10	10	10
8.15	3	1	1	1
8.45	30	11	11	8
9.15	5	1	2	2
9.45	30	11	12	7
10.15	31	9	10	12
10.45	30	10	10	10
11.15	29	8	10	11
11.45	30	10	10	10
12.15	27	5	8	14
12.45	30	10	10	10
13.15	31	8	11	12
13.45	30	10	10	10
14.15	13	3	4	6
14.45	30	10	10	10
15.15	33	10	11	12
15.45	30	10	10	10
16.15	22	7	7	8
16.45	30	10	10	10
17.15	25	8	9	8
17.45	30	10	10	10
18.15	22	7	8	7
18.45	30	10	10	10
19.15	35	10	12	13
19.45	30	10	10	10
20.15	43	11	15	17
20.45	30	10	10	10



試料

採取方法	採取深度 m

（註）1．試料採取方法の記号（記号の右の数字は試料番号）

○－1　乱さない試料

⊙－2　貫入試験機による試料

●－3　コアー試料

2．試料採取深度と回収比

3.20 / 45/50 / 3.70　3.20－3.70は試料採取深度（m）

45/50 は回収比（50cm：貫入深さ，45cm：試料長さ）

3．標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数，10cm～20cmの間で要した打撃回数，20cm～30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめしたものである。

※標高深度欄に示す、（ ）内の数値は設計GLからの深度を表示するものである。